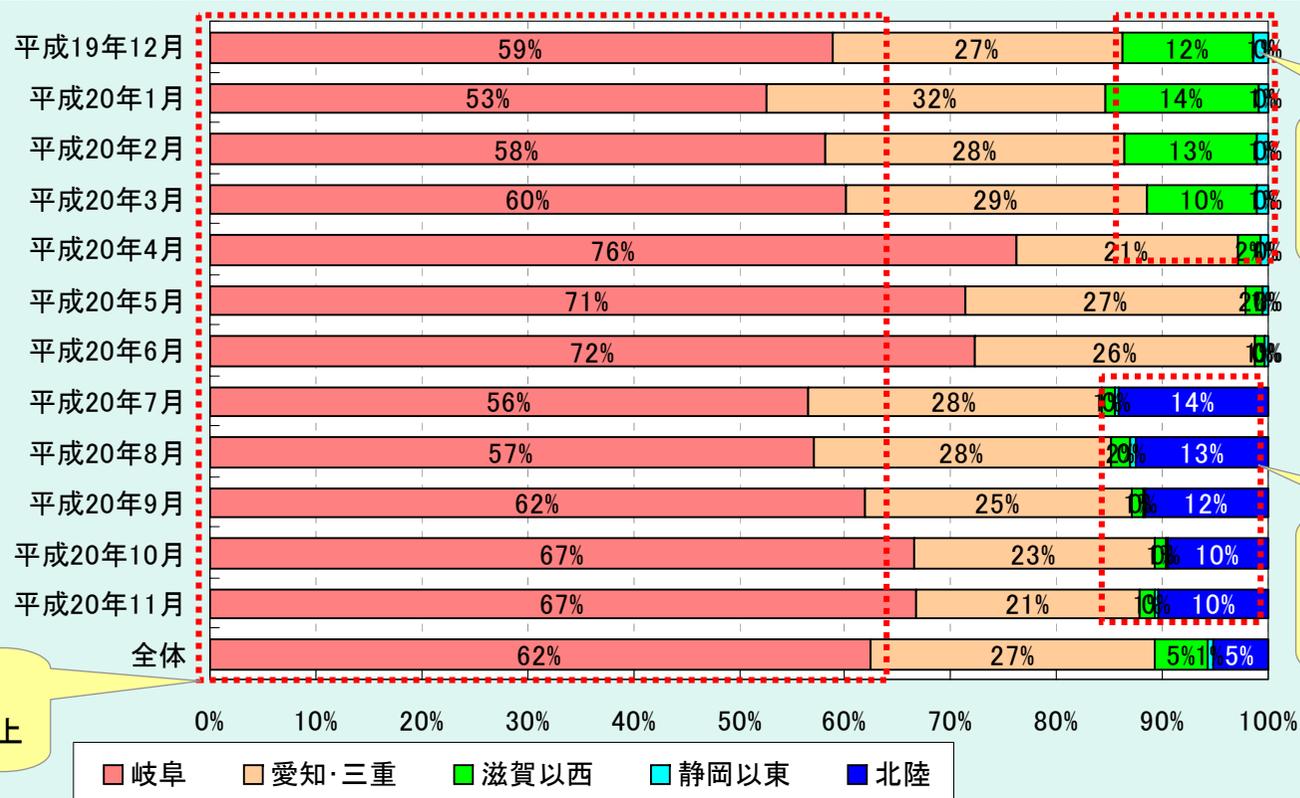


④ 計画交通量、供用予定時期

3 利用状況(利用交通の内訳)

- 岐阜県内での利用がいずれの月も50%以上と最も多い
- スキーシーズンの平成19年12月から平成20年3月は
滋賀以西のインターチェンジからの利用が10%以上
- 東海北陸自動車道全通後の7月からは、北陸からの利用が10%以上



岐阜県内での
利用が50%以上

スキーシーズンは
滋賀以西からの
利用が10%以上

東海北陸道
開通後は
北陸からの利用が
10%以上

[スマートICの利用交通の内訳]

⑤ 連結のために必要な工事

1 郡上市および岐阜県における連結のために必要な工事

- スマートIC本格導入に向けて、郡上市高鷲地内の国道、県道、市道の主要箇所案内標識及び誘導看板を設置し、周辺道路の誘導経路について明確化することにより、利用者の利便性の向上を図る。

2 中日本高速道路(株)における連結のために必要な工事

- 土木工費、用地費、諸設備(案内標識, 情報板等)

⑥ 管理・運営形態

本格導入後の管理・運営形態

社会実験結果をもとに、当該ICの社会便益、安全性、採算性等を踏まえ、本格導入後の管理運営形態については次のとおりとする。

- 運用形態
フル・インター形式
- 利用方向
全方向
- 運用時間
24時間
- 対応車種
ETC車載機を搭載した全車種
(料金車種区分の軽自動車等、普通車、中型車、大型車、特大車、けん引車を含む)



写真 スマートICの利用状況